



今回の紹介地区 No.066

香川県 小豆島町池田地区^{いけだ}

耕作放棄地再生利用緊急対策を活用した事例

状況

地区概要: 農地面積 173.6ha、うち耕作放棄地 97.9ha

放棄の理由: 農産物価格の低迷と農業者の高齢化、鳥獣による被害等

荒廃の程度: 雑草の繁茂や樹木が侵入しており、人力、農業用機械、重機による作業が必要

取組概要

対象面積: 0.05ha(畠)

実施期間: 平成22年3月16日～3月22日

取組のきっかけ: 小豆島町では平成15年から、「オリーブ振興特区」や「特定法人貸付事業」にて、企業による耕作放棄地へのオリーブの作付けを推進してきた。

今回、取組主体がオリーブの面積を拡大する意向を持っていたことから、小豆島町から本制度を紹介し、利用権設定による利用集積で本対策に取組むことになった。

調整経緯: 町や農業委員会を通して、土地所有者と交渉して実施に至る

取組主体: 東洋オリーブ(株) (作物: オリーブ)

作業内容: 雑草や樹木の刈払・処分、整地、土壤改良、営農定着

今後の予定

平成22年3月に再生作業、土壤改良(堆肥散布)を実施してオリーブを作付け。作付けしたオリーブは、小豆島ブランドのオリーブ商品(オイル、塩蔵用)として加工予定。



再生作業前

